

令和４年度 都城市立縄瀬小学校 第【３】回学校運営協議会報告書

日 時	令和４年１０月２７日（木） １０時２５分～１２時０５分	
場 所	都城市立縄瀬小学校 校長室	
参 加 者	委 員	古川 辰昭（委員長） 迫間 輝昭 中島 学 古川 照子 大田 育子 犬童 健人
	事務局	蓑毛 隆洋（校長） 竹下 龍祐（教頭）
	その他	
会 次 第	１ あいさつ（校長、古川委員長） ２ 授業参観感想・意見交換 ３ 説 明 ○ ２学期の前半の取組について ○ 今後の２学期の行事について ４ 学校評価項目について ５ その他 （１） 県民総ぐるみ推進教育研修会報告 （２） 学校と家庭・地域を繋ぐ架け橋	
協議内容	○ 授業参観後の感想では、「下学年児童は、のびのびと授業を受けていた。上学年児童は、節度ある態度で集中して取り組んでいた。また、先生方は、児童一人一人の意見をきちんと拾い上げて授業を進める等良い雰囲気であった。」という御感想をいただいた。また、「ＩＣＴを活用する授業は、賛成であるが、子どもたちは、家でもゲームをする機会が多いので、考える力や体力は低下するのではないか。」という御意見もいただいた。この件については、ＩＣＴ機器をただ知識の習得だけに使うのではなく、今、話し合いのための道具として使用することにより、思考力・判断力・表現力の育成を図っていることを説明した。また、体力の低下についての手立てとして、投力や握力を向上させるミニコーナーを設置する等図っていることを説明した。 ○ 運動会については、短縮で行われているけれども、万国旗を張って盛大に行いたいとの御意見が出た。現在では、コロナ禍での実施により準備・片付けも縮小して行ったという説明をし、本校の児童も地域と一緒に盛大に行い他という気持ちがあることを付け加えた。 ○ ２学期の取組の説明では、校長が写真を閲覧しながら説明したので、委員は終始和やかな様子で説明をお聞きになっていた。また、コロナ禍で本校ができる限りの工夫をしながら学校運営を行っていることを認めていただいた。 ○ 学校と地域を繋ぐための手立てについて協議するために、「県民総ぐるみ教育推進研修会」の概要について報告をしたところ、出席された方の御感想もいただき、この協議会委員一人一人が、学校と地域を繋ぐために自分にできることをしようとする雰囲気をつくることができた。ありがたい話である。	
そ の 他	○ 次回は、１２月中旬。学校評価についての報告を行う。また、食育との関連で、給食試食会を設け、児童と会食しながら楽しい時を過ごしていただきたい。	